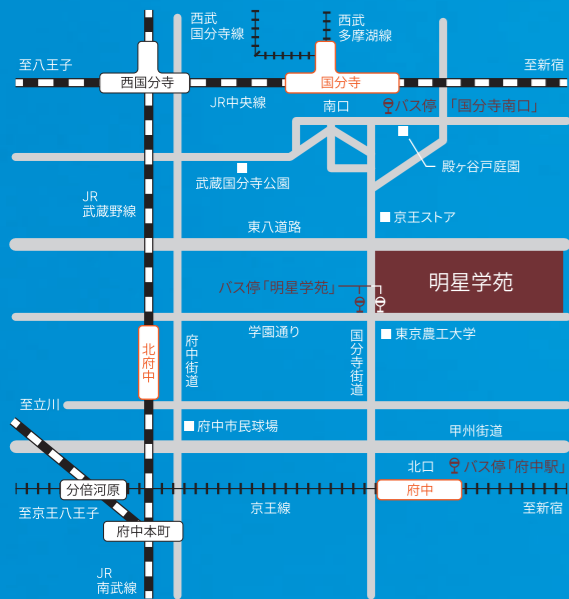


ACCESS



お車での来校はご遠慮ください。

- ・JR中央線・西武線「国分寺駅」バスより京王バス(2番乗り場)「府中駅」行乗車(約7分)「明星学苑」下車
- ・京王線「府中駅」より京王バス(3番乗り場)「国分寺駅南口」行乗車(約7分)「明星学苑」下車
- ・JR武蔵野線「北府中駅」より徒歩約15分



GUIDE BOOK 2024



〒183-8531 東京都府中市栄町 1-1
TEL:042-368-5119
<https://www.meisei.ac.jp/es/>

学校法人明星学苑
明星幼稚園 明星小学校 明星中学校・高等学校 明星大学



明星小学校のウェブサイト

明星小学校の
今を
お届けします!



MEISEI NOW

予測不可能な
時代を生きていく
ために必要な

探究する力を育てます。

問題
発見能力

問題
解決能力

問題
追究能力

賢さと豊かさ

wisdom and wealth

深い学び

子ども一人ひとりにとって学びは異なります。学校生活を通して学んだことを自分のこととして解釈することで深い学びとなります。各教科で「習得・活用・探究」という、それぞれの特性に応じた「見方・考え方」を身に付けていきます。



豊かな心

明星小学校では、人との関わりを大切にしています。様々な人との関わりを通して、豊かな発想、豊かな思考が生まれます。豊かな環境の中で得られた感動は、子どもたちを生き生きと輝かせ、豊かな心を育てていきます。



凝念 ぎょうねん

目を閉じて姿勢を正し、心のはたらきを一点に集め、精神を集中させることを「凝念」といいます。

物事の始まりと終わりの切り替えに凝念を行うことで、心を整え、集中して次の行動に移すことができます。心の成長につながる「凝念」の教えは、明星学苑の創立以来受け継がれており、教育の柱として現在も大切に実践しています。

※成蹊学園創立者中村春二先生が考案



教師力

team MEISEI

子どもたち一人ひとりの幸せを願って

学校で子どもたちの一番そばにいる存在は誰でしょうか。それは教師です。

子どもと一緒に微笑み、時に厳しく、愛情を持って接する教師。

子どもたちが心豊かに学校生活を送るためには、教師の存在がとても大きいと感じています。

明星小学校では、教師に必要な授業力、人間力を切磋琢磨しながら

豊かなものにして教師力を高めています。

そして、教師と保護者が一体となり「チーム明星」となって一緒に素敵な小学校を創っています。



探究 Inquiry

明星学苑の「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」という建学の精神のもと、時代の変化を注視しながら、常に教育プログラムをアップデートしていく必要があると捉え、「心が育つ、感動ある体験プログラム」の実現を目指しています。その中で現在、「探究学習」の導入を進めております。

探究学習とは、児童の思考力や判断力、表現力などの育成を目的として、問題解決的な活動を発展的に繰り返していく一連の学習活動のことを言います。児童自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら学習を進めていきます。

明星小学校ではより充実した探究学習を実現させるため、5,6年生の総合的な学習の時間では「ゼミ活動」を導入しています。自分が興味のあるものをもとに立てた課題に合わせて所属するゼミを選択し、同じような課題を持った児童と一緒に探究学習を進める環境を整えています。

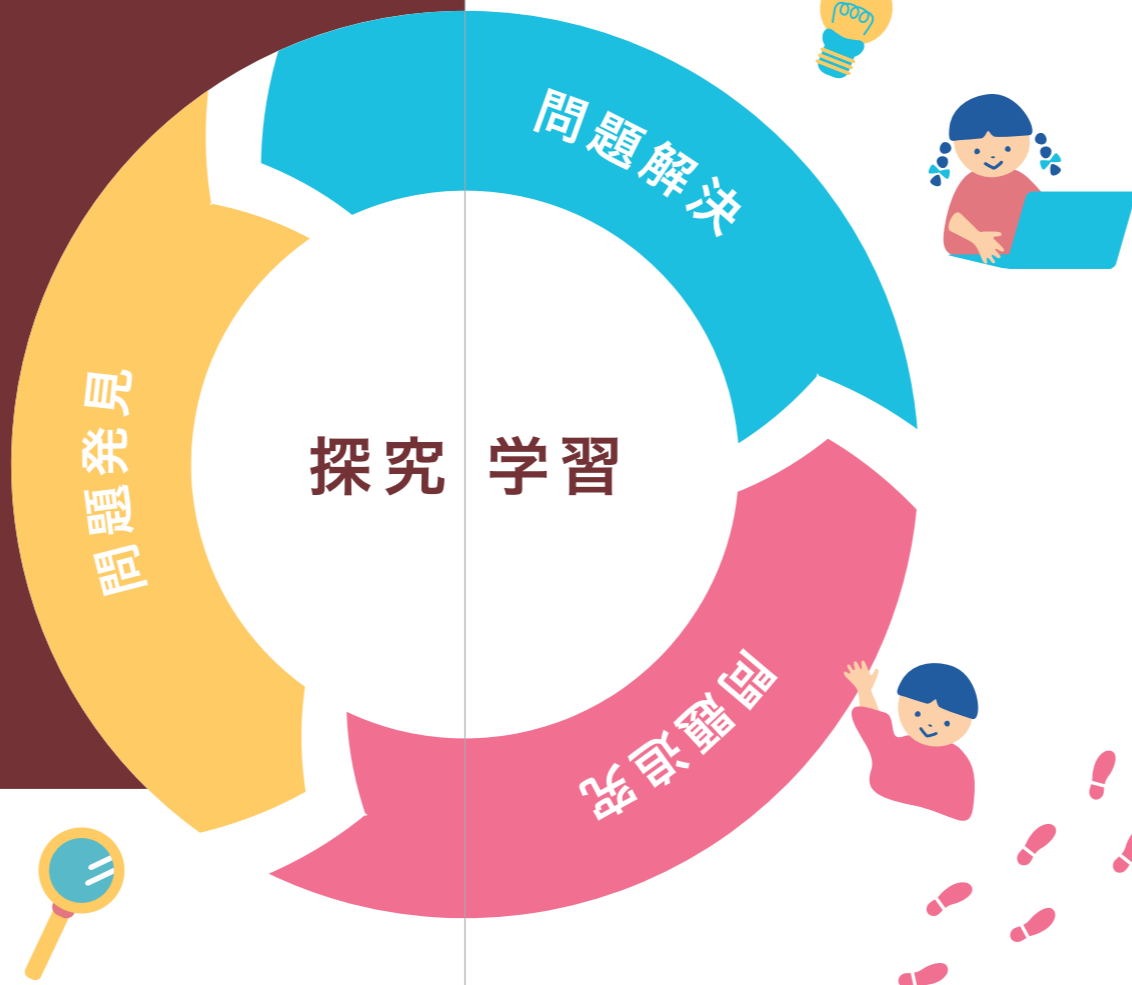
明星小学校ゼミ探究活動	
<p>《STEP1》自分の興味関心の分析 《STEP2》所属ゼミを選択し、決定 《STEP3》ゼミで取り組むフィールドを選択 《STEP4》ゼミ探究活動開始</p>	<p>文化ゼミ Field.1ー衣・食・住 Field.2ーアート・音楽・演劇(伝統文化(祭り)なども含む) Field.3ースポーツ (オリンピック・パラリンピックも含む)</p>
<p>社会ゼミ Field.1ー歴史(世界史も含む) Field.2ー現代(公民、キャリア、教育など) Field.3ーメディア(マスメディア、インターネットなど)</p>	<p>国際ゼミ Field.1ーコミュニケーション(言語も含む) Field.2ー国際文化・交流 Field.3ー国際関係 (SDGsに関するものも含む)</p>
<p>理数ゼミ Field.1ー数学(確率、数式、立体、建築など) Field.2ー理字(生物、地学、物理、環境問題など) Field.3ー情報 (プログラミング、AI、ロボティクスなど)</p>	



問題解決

自分が探究する課題に合わせ、情報を収集・分析し、そこから自分の考えをまとめていく活動を行います。情報を収集する活動としては、「取材」や「アンケート」、自分の考えをまとめていく活動としては「プレゼンテーション資料作成」を行なっています。

この活動については専門家の方の知識や経験と触れ合うことを大切にしています。専門家の方を講師に招いたワークショップや、取材活動も積極的に進めていきます。



問題発見

自分が興味を持っているものをもとに、自分が探究していきたい課題を見つけしていきます。探究学習を進めていく上で、課題を見つけることが非常に重要であり、難しいプロセスでもあります。課題を見つけるスキルとして、児童は「イメージマップ作り」と「ブレインストーミング」にチャレンジしています。「イメージマップ作り」では、自分が興味のあることを分析し課題につなげること、「ブレインストーミング」では、協働的にテーマを考えることで、自分が取り組みたい課題を見つけることを目的としています。



問題追究

自分で進めてきた探究が、どんなことに生かされ、つながっていくのかを考えることも大事なプロセスとなります。自分の考えが学校の課題解決になるものや地域貢献になるものがあれば、これから自分が進める探究学習の新たな課題を発見することにつながることもあります。

探究学習のプロセスを一周させるだけで終わらせることなく、次の探究につなげるよう、自分の探究をまとめていきます。自分で立てた課題に対して継続的に追究できるよう、ゼミ活動の継続と明星中学校との連携を図っています。



アクティブラーニングを意識した多彩な英語プログラム

英語の授業の3つのルール「ファ、レ、ミ」

ある年の入学式。講堂で行われた新任の英語教員からの挨拶。“Hello, I'm……. How are you everyone?”すると一斉に“Hello! I'm good.” “I'm excited.” など子どもたちの答えが講堂中に響き渡りました。子どもたちの元気な声と多くの返答に教員はびっくり。その様子を見て私はつい笑ってしまったと同時に、その姿を心から誇らしく思ったことを覚えています。子どもたちにとっては日々の挨拶という何気ない行動でしたが、自分の言葉で咄嗟に反応するその力は、まさに真のコミュニケーション力といえるのではないでしょうか。初対面の人にも臆することなく、相手に応えようとする一生懸命な子どもたち。私は、そんな明星小学校の子どもたちが大好きです。

英語「で」伝え合う。

その楽しさを、体験を通して感じてほしい。

2020年度より小学校での英語教育が必修化され、さらなる急速なグローバル化に対応できる人材が求められています。本校の英語教育では、知識を獲得するだけでなく「自信を持って、英語で自己表現できる子」の育成を目指して日々指導を行っています。さらに、「自信を持って」表現するためには、「can(できる、できるかも)」を増やすことが必須だと考えています。

本校では、国立台中教育大学附設実験国民小学との交流をはじめとする国際理解活動を多数実施してきました。子どもたちは海外からのお客様に戸惑いつつも、「Let's play together. (一緒に遊ぼう)」「What food do you like? (何の食べ物が好き?)」など共通言語である英語で、伝えたいことをどう表現したらよいのか必死になって考えています。授業で得た知識やジェスチャーを駆使し、コミュニケーションをとることができた時の子どもたちの表情は、達成感に満ち溢れた格別なものです。

子どもの実体験に結びつけ、興味・関心や疑問を持って取り組むことのできる環境を設定することで、子どもは自然と好奇心を持ち、主体的に活動します。さらに、相手に伝えることができた時には「伝わった!」と喜びを実感し、「もっとできるかもしれない!」「もっとチャレンジしたい!」という意欲に繋がっていきます。

教科書の単語や表現を覚えるという、英語を第二言語として捉えた学習だけではなく、「When(いつ)」「Where(どこで)」「Who(だれが)」「How(どうやって)」をどう使うのか意識した学習を取り入れることで、子どもは日常生活における出来事や身の回りの事象に置き換えて想像し、当事者意識を持って活動することができるのです。

より多くのトライアル&エラーを

1年生から週2時間、6年生では週3時間と授業時数が確保されているものの、多くの知識やスキルを子どもが発揮するためにはさらなる実践の場が必要です。本校では、英語漬けの3日間を送るEnglish Camp、英語の暗唱大会Recitation Contest、浅草での英語インタビュー、放課後英語プログラムStar Village(英語村)など、充実した体験学習の機会を設けています。大切なことは、多くの失敗をすること。新たなことに挑戦する時には、意思が伝わらない、思い通りにいかないといった失敗はつきものです。「練習したのに伝わらない。」「応えてもらえない。」「そのジレンマを抱えながらも「どうしたら伝わるのか。」「どのように発信すると応えてもらえるのか。」を、試行錯誤しながらさらに発信していくこと、これこそが英語力を身につける上で必要不可欠な過程ではないでしょうか。一時的な経験だけではなく、トライしてエラーが発生し、その解決策を考えてさらにトライする。その過程が子どもをより成長させるのだと思います。

生きた英語!もっとやりたい!

小学生の興味は計り知れないほど広く深く、私にとっても毎日が驚きと発見で溢れています。さらに英語学習における子どもの関心は日々とまることを知りません。「～は英語で何というのかな?」「～と…は意味が同じなのに、どうやって使い分けるの?」など、子どもたちのつぶやきで予定していた授業内容が終わらないということは日常茶飯事。時には自主学習で調べ、時には英語を母国語とする教員に教えてもらい解決していきます。

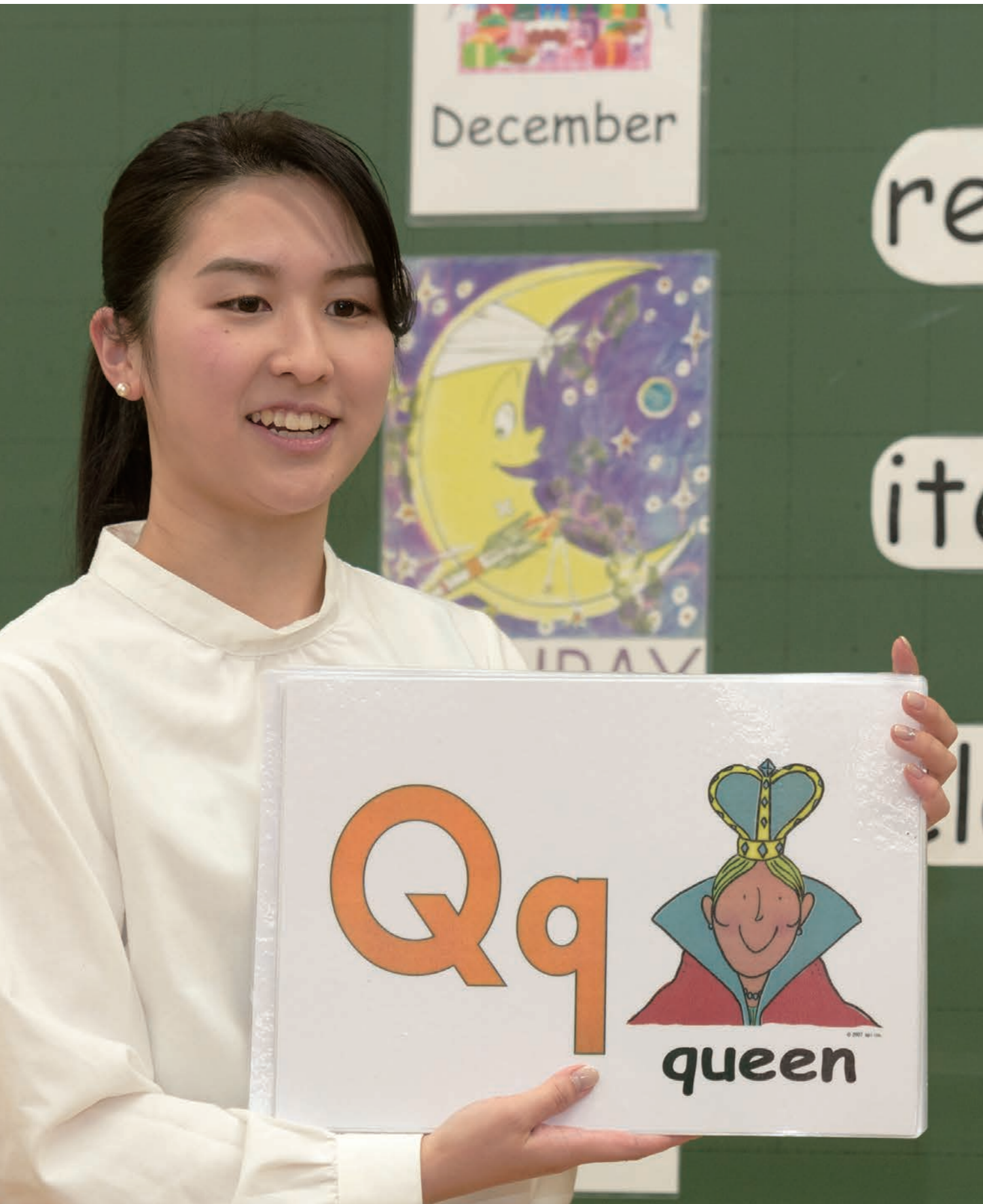
本校では昭和50年に英語を母国語とする教員による英語授業が開始され、以来46年間、各学年英語を母国語とする教員による授業が行われています。日本人教員では判断できない感覚や文化を子どもと共有することで、その興味・関心をさらに広げ、さらなる意欲に繋がっています。

英語授業のコラム Column

本校の英語の授業の3つのルール「ファ、レ、ミ」。

- 1 **Have fun.**
(楽しく学ぼう。)
- 2 **Respect each other.**
(お互いを尊重しよう。)
- 3 **Mistakes are treasures.**
(間違いは宝物)

本校の英語の授業の3つのルール「ファ、レ、ミ」。“Have fun. (楽しく学ぼう。)” “Respect each other. (お互いを尊重しよう。)” “Mistakes are treasures. (間違いは宝物)”を意識した指導を日々行っています。小学校教育は子どもの人格形成に非常に大事な素地を育てる期間です。日々の友だちや教員との関わりの中で「他」を思い「自」を愛せるような子どもになってほしいと思います。



奥田 茜
英語科主任

「算数好き」という気持ちを育て、筋道を立てて考える力を養います



岩崎 佑亮
算数科主任

「できた!」経験が自信につながり、自信が問題に挑む原動力となり、どんどん算数が好きになる。

子どもの頃を思い出してみてください。算数が好きだったでしょうか?算数が好きな人は「答えが求められるとすっきりする」という理由が多いようです。一方、苦手だった理由として、「分からなくなるとずっとついていけない」「計算が大変」などが多いようです。算数は積み上げていく教科です。新しい問題であっても、基本的には今までの学習を振り返れば、おのずと問題を解くことができるようになっていきます。そこで大事なことは記憶の引き出しにどのようにしてあるかということです。公式だけ覚えようとしていたのでは、うまく引き出すことができません。どのようにしてその公式になったのか考えた経験が、その引き出しにはいっしょに入っていないとダメなのではないでしょうか。

突然ですが、台形の面積を求める公式をすぐに頭に思い浮かべることができますか?「(上底+下底)×高さ÷2」です。公式は覚えていればすぐに問題を解くことができます。しかし、公式を覚えていないと解くことができないのでしょうか。そんなことはありません。公式を用いなくても、面積を求めることができます。

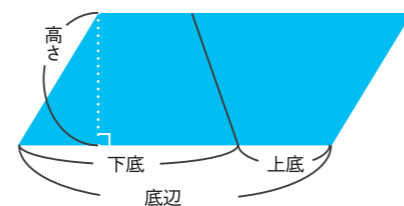
Challenge!

右の台形の面積は?



Answer!

台形の面積の求め方の例
同じ台形をひっくり返して平行四辺形にする。



論理的思考力や表現力を伸ばし、算数好きを育てる。

「22」という数字を聞いて何を思い浮かべますか?「数字が並んでいる」「20+2」「2の11倍」「誕生日?」…。誕生日はちょっと違うかもしれませんが、瞬発的に数を分解したり、合成したりする力を数感覚といいます。車のナンバープレートを見て「+×÷(四則演算)」を使って10を作った経験はないでしょうか。

「豊かさ」と「賢さ」

本校では、算数の授業のはじめの5分間に「A.A.授業(Arithmetic Activity)」を取り入れています。例えばこのような「メイク10(10づくり)」を授業のはじめに行うのです。(1, 1, 4, 9)で10をつくることはできますか?頭の中でたくさんの計算が始まります。(1+1)×(9-4)で10をつくることができます。問題によっては+÷だけでもつくるので、1年生から楽しめます。このような問題を継続していくと、子どもたちは瞬時に10をつくり出すことができ、数感覚が豊かになります。楽しみながら、計算の練習にもなります。しかし、時には5分間の中では解決できないこともあります。すると、翌日「できました!」と嬉しそうにノートを見せにくる子がいます。家でもずっと考えていたようです。みんなにも紹介すると「すごい!」と称賛され、本人は恥ずかしがりながらもうれしそうです。「メイク10」の他にも「タングラム」「パターンブロック」など、形づくりを通して図形に親しむ活動を取り入れたり、相手のカードを当てる「アルゴゲーム」を通して、論理的に考える力を育てたりしています。

子どもたちはこのような活動が大好きです。算数が苦手と思っている子どもも解くことができると、「できた!」と笑顔がこぼれます。できた経験は自信につながります。自信は算数の問題に挑む原動力となり、どんどん算数が好きになります。算数を楽しむ心は教師自身も持っている必要があります。子どもと一緒に算数を楽しみながら、心の「豊かさ」を育てていきます。

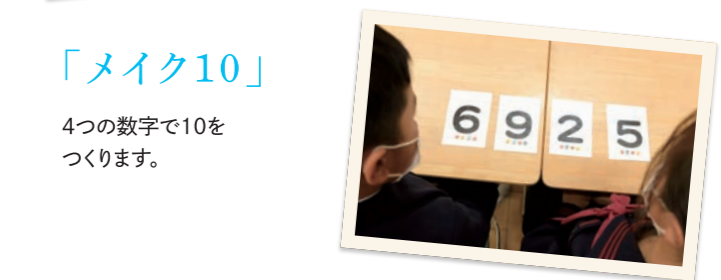
また、数や図形を豊かにみることができると子どもたちは、算数のおもしろさを自分たちでたくさん見つけます。それが「賢さ」だと思います。学校で学んで終わりではなく、家に帰っても考えたい、追究したい。子どもの知的好奇心をくすぐり、火をつけるような授業づくりができるように心がけています。

A.A.授業の様子



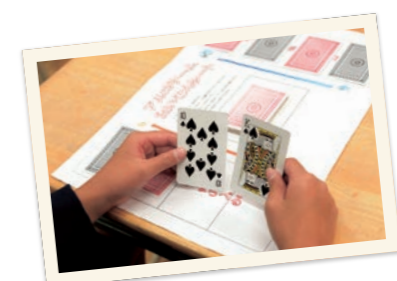
「ジャマイカ」

黒の数字の和を、白の5つの数字で作ります。



「メイク10」

4つの数字で10をつくれます。



「アルゴゲーム」

自分のカードをもとに、相手の4枚のカードを当てます。

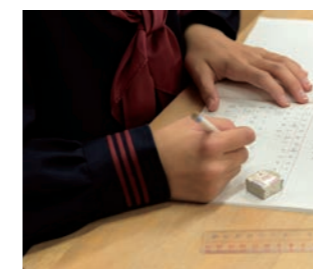


「マンカラ」

おはじきを動かして、自分の陣地からおはじきが無くなれば勝ちです。

算数授業のコラム Column

授業の様子



自分の考えをノートにあらわすことで、考え方を広げていきます。



算数の授業内でのプログラミングも行っていきます。

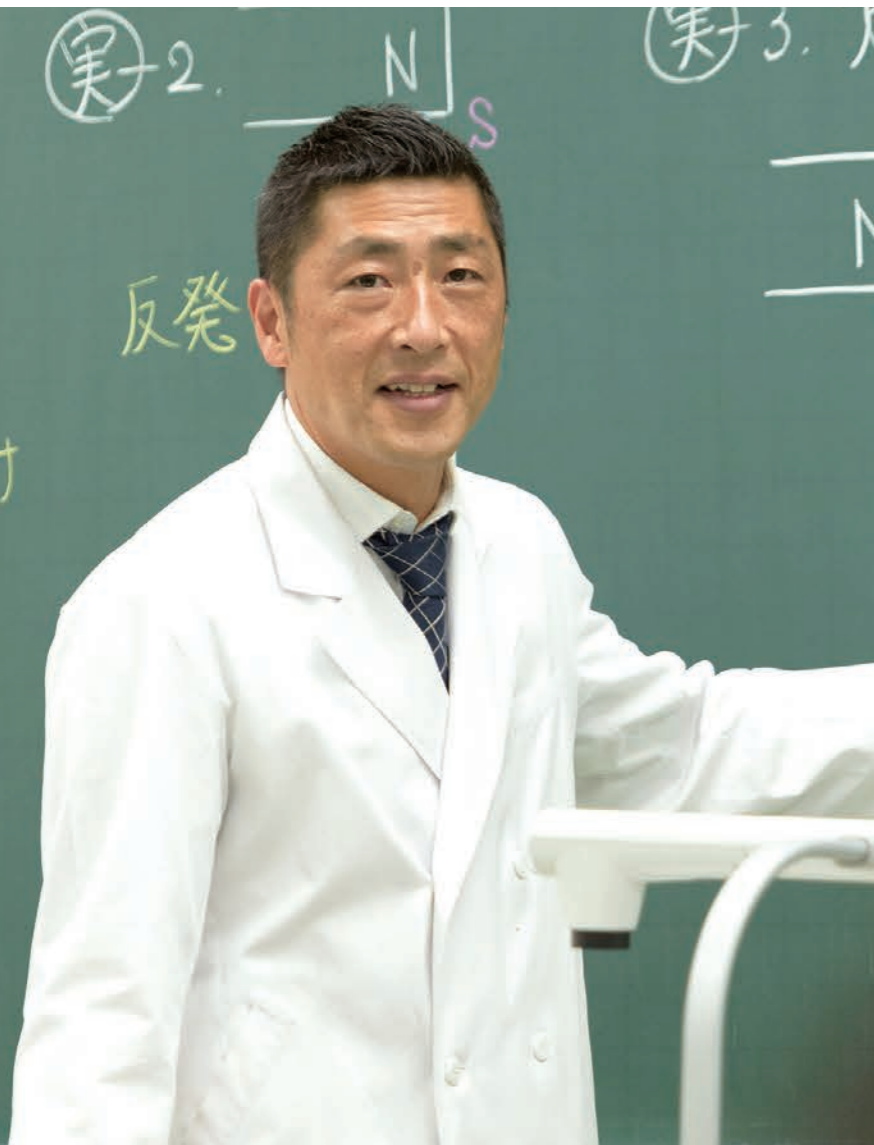


自分の考えていることを発表することで、振り返ることができます。



友だちに見てもらうことで様々な考え方を知ることができます。

理科学習のキーワード「ふしぎ発見!!」



「なぜ?どうして!?!やってみよう!!」 なるほど理科

本校では、「小・中一貫教育を重視したカリキュラムづくりと新しい理科授業」をテーマとして、カリキュラムの見直しを行ってきました。その内容は、次の2点です。

低学年理科のカリキュラム

1・2年生の「くぬぎの時間」に、ゴムや磁石の力、豆電球を使った簡単な実験、昆虫や植物の飼育栽培・観察など、理科的内容の充実を図り、興味関心を深めます。柔軟な思考で吸収力の大きい低学年のうちから、理科教材や身近な理科的事象に直接ふれ、五感をはたらかせて楽しく活動することで、子どもたちの理科に対する関心や探究心を芽生えさせ、「理科が嫌い」、「理科ばなれ」を防ぎ、「理科好きな子」を育てることができると考えています。そして、3年生以上の学年では実験や観察の時間を充実させることで、科学的な見方、考え方を高めていくことができます。

中学校理科教諭による、より高度で 専門的な理科授業の実施

6年生の理科では、明星中学校の先生が必要な教材や教具を準備して授業を行います。時には中学校に行き、より本格的な実験器具や天体望遠鏡などの施設を利用することもあります。また、中学校の指導内容にも触れることで、小学校の指導内容をより深化させ、中学校に進学した際に、既習体験から授業を牽引するリーダーとして成長してくれることを期待しています。

中山 浩二
理科主任

先生のコラム Column

中山先生が授業を行うにあたって心がけていること

- 1 身のまわりの事象の中から疑問を抱く
- 2 実験・観察を通して不思議を知る
- 3 不思議のスパイラルを感じる

理科は、不思議に思うことから学習が始まります。その不思議について観察や実験で調べ、「なるほど、そうか!」と理解し、「もっとないか?」と探究していきます。やや難しい実験を通して知的好奇心を養い、探究心を育て、失敗を恐れず粘り強く取り組む姿勢を育てていきたいと思えます。

「なぜ?」「どうして!?!」「やってみよう!!」この知的好奇心のスパイラルを、これからも大切にしていきたいと思えます。

論理的思考力を育む、プログラミング教育

人とのつながりを感じ 自己を表現するICTと、 「夢をかなえる」プログラミング

2020年度より、小学校では「プログラミング教育」の必修化がスタートしました。明星小学校では、これから社会が大きく変化していくといわれている中で、プログラミング教育を推進していくことには大きな意義があると感じ、2020年度を迎える前より独自のプログラミング教育のカリキュラムに取り組んでいます。

明星小学校のプログラミング教育の特徴は、「教科内で行うプログラミング教育」と「専門的なプログラミング教育」の2つの柱で展開していることです。「教科内で行うプログラミング教育」に関しては、(株)ベネッセ・コーポレーションとの共同研究で作成した算数の教材を使用して、全学年での実践が進められています。また「専門的なプログラミング教育」に関しては、明星大学情報学部と連携し、より専門的な知識を学べる特別な授業を行っています。

このような独自のカリキュラムを展開することで、1年生から6年生までの全児童が様々なプログラミングの体験をでき、さらに希望する児童には、より専門的にプログラミングを学ぶ機会を設けることができます。

これからもプログラミング教育を積極的に取り組むことで、子どもたちの創造性と、「トライ&エラー」を繰り返しながら問題解決に向かっていく力を育てていきます。

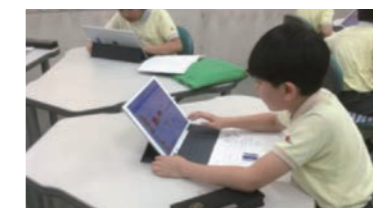
丸山 農
ICT部会主任



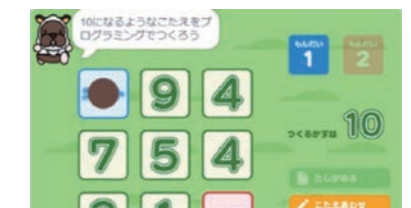
コンピューター・iPadを使った授業の様子



3年生は文字の入力から学習が始まります。



プログラミングの授業は皆、真剣な眼差しです。



ベネッセと共同開発した独自のプログラミング教材。



「体験に基づき、自分で考え、行動し、友だちと伝え

各教科において、アクティブラーニングと、一人ひとりの学びの
さらに、確かな学力はもとより、子どもたちが大人になった時を見据えて、「論理的思考力」や「発信力」、



国語は、すべての教科の基礎となる教科です。本校では、教材を通して、論理的思考力を育てることに力を入れています。物語文、説明文、詩それぞれに、読み解くためのきまりや用語があります。それらを低学年からしっかり学んで、高学年では、そのきまりや用語を自分で活用しながら、根拠を持って論理的に考え、文章を正しく読み取れる力をつけていけるように、指導をしています。

日々の日記は、文章力をつけるだけでなく、その日一日を自分自身と向き合って振り返る貴重な時間にもなっています。さらに、全校で漢字検定にもチャレンジしています。毎年90%前後の合格率で、漢字検定の協会からも表彰されています。

1月には、書き初め会を行っています。日本の伝統文化を大切にすることも育んでいます。

国語
Japanese



一般的に社会科の授業は、「調べる」「考える」「わかる」活動が展開されますが、本校では、社会科で学んだことを、その後の学習や社会に生かす活動を位置づけ、社会に関わろうとする意識を養うようにしています。その実現のために、「あれ?」「どうして?」といった子どもたちの追究意欲を高める教材を身近なものから選択し、子どもたち自身が興味を持って取り組めるような授業を心がけています。

日々変化する現代社会において、情報をどう選択して、どう活用するのか、未来に向けて自分の考えをどう発信していったらよいのか、子どもたちと共に考えています。

社会
Social studies



道徳教育を学校生活のあらゆる場において、繰り返し実践していこうという児玉九十先生の教えが代々受け継がれ、日々実践しています。

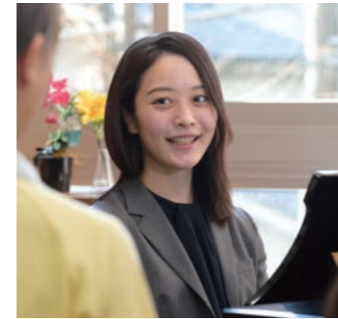
授業では、実際の生活場面を設定しながら、その時々自分のすべき正しい行動を考えたり、相手の気持ちになって物事を考えたりする場面を積極的に設けています。道徳の授業で学んだことを普段の生活で生かせるような授業を目指しています。

また明星小学校の道徳教育として、「凝念」に力を入れています。創設以来受け継がれる心の教育を日々大切にしています。

道徳
Moral

合える学び方」を大切にしています。

ステージに寄り添う指導を行っています。
「コミュニケーション力」を育てる独自のカリキュラムを取り入れています。



友だちと一緒に音楽を作る素晴らしさを実感したり、美しい曲を聴いて友だちと共感したりすることで、心が磨かれるように取り組んでいます。一人で音楽を楽しむよりも、友だちと関わりながら楽しむことによって、一人ではできなかった発見や、友だちのいいところを見つけて自分の演奏に活かすことができます。毎年、開催される音楽会では、下学年が上級生の合唱を憧れのまなざしで聴き、上級生は見守るような姿で聴いている姿がとても印象的で、会場内がとても温かな空気で包まれます。

音楽
Music



「心をこめて丁寧に」という気持ちを大切に、自分だけの色や形を探しながら創造力を働かせて表現をする造形活動を目指しています。紙や木、土、石などの素材や、それらを扱う様々な道具に触れさせて表現の幅を広げ、感性・創造性を豊かなものにするよう取り組んでいます。

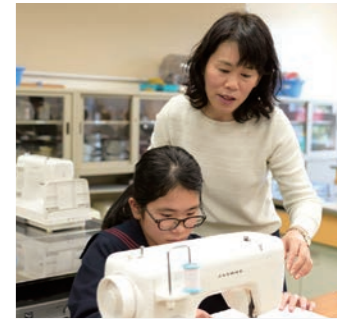
低学年では加工のしやすい素材や道具に親しみながら、色形の多様性と、造形の基礎基本を学びます。中学年では、扱う素材や道具、表現の幅を広げ、高学年では、培ってきた感覚や技術を生かして、「用途を考えたい造形制作」を行い、中等教育へ向けての礎を定着させます。

図工
Art&Craft



将来、どんなスポーツに出会っても「おもしろそう!」「できそう!」「できるかも!」と思える心と体づくりを目指しています。特に低学年から動ける体づくりを意識し、様々な動きを行う中で、運動の感覚を高め、6年間の心と体の発達段階を考慮して、スモールステップを踏んだ独自のカリキュラムを作っています。また、思わず子どもたちから動きたくなる運動を行っている中で、男女分け隔てなく支え合い、補助し合い、応援し合い、高め合える活動を積極的に取り入れています。

体育
Physical Education



家庭科では、衣食住に関する実践的・体験的な活動を大切にしています。その学んだ知識を生かして、生活をよりよくしようと工夫する能力を育てています。

例えば、5年生の最初には、全く裁縫の経験がなくても、5年生の終わりには、手縫い、ミシン縫いができるようになります。そして、6年生の最後には、自分の好きな作品を工夫して製作することができるようになります。また自立に向けて、家庭生活の中での自分の役割について考えたり、金銭の使い方や環境に配慮した生活について考えたりしています。

家庭科
Home Economics

明星小学校の教育

「健康、真面目、努力」の校訓に基づき、明るく、強く、正しい精神を体得させ、あくまでも良識と実践力のある心身ともに健全な児童・生徒等の育成を目的として創立以来歩んでいます。

● 教育目標 賢さと豊かさを兼ね備えた輝きをもった人の育成

- 生活目標
 - ・心身のバランスを身に付ける低学年
 - ・学ぶ喜びを知り、チャレンジ精神を養う中学年
 - ・自ら考え行動する力と友人とのつながりの中で協調性を育む高学年

● 教育内容・教育方法 良識と実践力のある子どもの育成を目指しています。

- 低学年 心身のバランスを整え、物事を正しく感じ取る。
- 中学年 何事にも自ら進んでチャレンジし、意見を伝え合う。
- 高学年 自分で課題を見つけて取り組む。

明星学苑の教育

- 教育方針
 1. 人格接触による手塩にかける教育
 2. 凝念を通じて心の力を鍛える教育
 3. 実践躬行の体験教育
- 「建学の精神」
和の精神のもと、
世界に貢献する人を育成する



明星学苑 創設者
児玉 九十先生

1888年静岡に生まれ、四高を経て東京帝国大学文科大学にて東洋史学を専攻する。王陽明の「知行合一」を信条とし、卒業後は中村春二氏に請われて成蹊学園主事に就任し、私学教育に従事。1923年、明星実務学校創設者となる。1949年に制定された私立学校法の基礎をつくり、1989年に没するまで、幼稚園から大学を擁する総合学園を指揮した。

感動の数で心を育てます

大自然の中で、緑豊かなキャンパスで、一年を通して、心躍る行事がたくさんあります。本物に触れ、見て、聞いて考える活動を通して、豊かな心と賢さを育みます。



【2月】3年生
TGG 英語体験

TOKYO GLOBAL GATEWAYが提供する体験型英語学習施設で1日英語に触れます。

【11月】4年生
浅草校外学習
午前中は浅草の文化を学び、午後は英語で外国の方にインタビュー。外国の方との本物のコミュニケーションを学びます。



【2月】5年生
HEART Global

英語を使って歌って踊り、仲間とコミュニケーションをとりながら2日間でミュージカルを作り上げる活動です。



【7月】4~6年生
イングリッシュキャンプ(希望者)

英語漬けの2泊3日を通します。英語のシャワーが子どもたちを成長させます。



Yearly Events



【5月】全校 運動会
競技中心の運動会。3色に分かれて学年の垣根を超え、優勝目指して力を合わせます。



【5月】1年生 お鷹の道
学校の近くをハイキング。たくさんの自然に触れ合う初めての校外学習です。



【5月】4年生 秋水園ごみ処分場
社会で学習した知識をさらに深めます。



【6月】5年生 田植え
小学校にある田んぼで田植えをします。



【6月】6年生 鎌倉校外学習
事前に計画を立て、交通手段や見学場所などを自分たちで決めていきます。



【7月】2年生 サラダパーティー
自分たちで育てた野菜を、自分たちで調理していただきます。



【9月】全校 明星祭
1日目は3年生の劇発表。2日目は教員と保護者で作る子どもたちのための特別な縁日。



【10月】5年生 日野自動車、凸版工場見学
社会で学んだ知識を活かし、工場見学を通して学びを深めます。



【11月】2年生 府中の森 校外学習
次年度のクラス替えを考え、3クラス混合のグループで活動を進めます。



【2月】6年生 都内見学
国会議事堂に行き、見聞を広めます。



【1年生】

7月

きよさとの教室

山梨・清里へ1泊2日のきよさとの教室へ出かけます。初めての宿泊学習は、1年生の心と体を大きく成長させます。



【2年生】

7月

緑の教室

山梨・清里へ2泊3日の緑の教室へ出かけます。散策を通して自然と触れ、友だちと協力しながらアクティビティを行うことで心を育みます。

【3年生】

6月

海辺の教室

千葉・鴨川方面へ2泊3日の海辺の教室へ出かけます。磯の観察でたくさんの発見があります。



友だちと一緒に
過ごした時間が
私たちを大きくします

School Trip



【4年生】

9月

秋の学校

山梨・河口湖へ2泊3日の秋の学校へ出かけます。宝永山の登山や自分たちで計画した見学コースを巡り見聞を広めます。

山の教室

長野・諏訪湖へ2泊3日の山の学校へ出かけます。

【5年生】

10月



【6年生】

10月

修学旅行

京都・奈良方面へ3泊4日の修学旅行。世界遺産の名所や歴史のある施設を事前に調べて計画を立てます。計画する力、主体的に行動する力などを育みます。

6年間で合計12泊の
宿泊行事を通して、
豊かな心と自立心を育みます！

緑豊かなキャンパスが、
感性を磨きます

授業だけでなく、朝の会、昼食の時間、
休み時間など、すべてが学校生活の大事な
一部です。たくさんの友だちとのふれあい
の中で、毎日新しい出会いがあり、その一つ
ひとつが成長の糧になります。

School Life



委員会活動

運営 / 集会 / 生活 / 美化
保健体育 / 飼育栽培 / 図書 / 放送テレビ

クラブ活動

造形 / 手芸 / 科学実験 / 和太鼓
ミニバスケットボール / 一輪車 / ダンス
ティーボール / コンピューター(プログラミング)
スポーツダーツ / 将棋



生活時程表

		月	火	水	木	金	土
予鈴							
本鈴							
朝の会	8:25~8:35						
児童朝会 国語学習	8:35~8:50	全校 朝会	朝国語		全校 集会		
1	8:55~9:40						家庭 学習 日
2	9:45~10:30						
ほのぼの (15分間)	10:30~10:45						
3	10:50~11:35						
4	11:40~12:25						
昼休み	12:25~13:10						
5	13:15~14:00						
6	14:05~14:50						
クラブ 委員会 (50分間)	14:20~15:10						

※月曜日は隔週でクラブ活動(4~6年生)と、奉仕委員会活動(5・6年生)を行う。
※朝の国語学習は、作文・漢字・読書等の内容を行う。(15分間)
※火曜日は4年生社会・5年生体育、木曜日は6年生体育、金曜日は4,5,6年生くぬぎを
ロング(14:05~15:05)で行う。



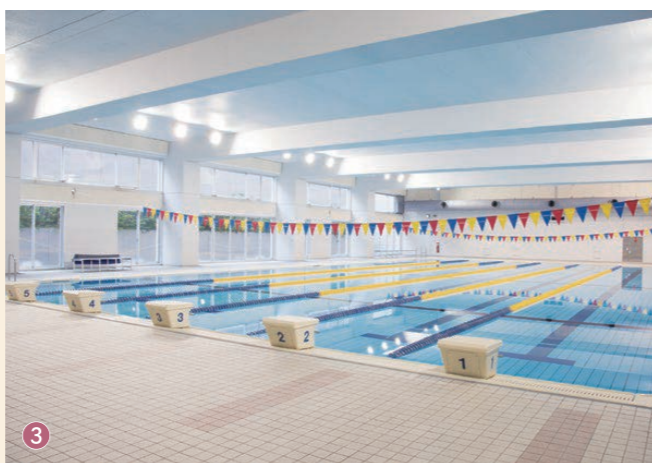
Photo ① 登校の様子 ② くぬぎの時間(畑の活動) ③ 英語の時間 ④ わかる、わかる!
⑤ 休み時間の様子 ⑥ iPadを使った授業 ⑦ そうじの時間 ⑧ 体育の時間 ⑨ 下校の様子

緑あふれるキャンパスは、
1400本もの木々が茂る、
自然の宝庫です

明星小学校は、明星幼稚園、明星中学校・高等学校と同じ府中キャンパス内にあります。約1400本の樹木が茂る森は植物の宝庫。広い敷地内に、畑や田んぼがあり、自然観察、作業体験ができるのも魅力です。校舎をはじめ施設も充実し、安心して学校生活を送ることができるキャンパスです。

School
Facilities

- ① 人工芝の校庭
雨が上がった後もすぐに遊べます。
- ② 体育館
校舎内の中心にあり、しっかり運動ができる広々とした屋内空間です。
- ③ 総合体育館(プール)
身長に応じて床の高さが調整できる自慢のプールです。
- ④ 図書室
休み時間は、本好きの子どもたちであふれています。
- ⑤ メディアルーム
教室が全面スクリーンとなっています。
- ⑥ イングリッシュルーム
一体化されている机と椅子で、多様な授業形態を作り出すことができます。



放課後や長期休業中などに家庭的な役割をもった
あたたかい生活の場を提供いたします

After School
Activity



小学校の校内にあるので安心です。



日記や読書など静かに学習に向き合う時間を確保します。



栄養価に配慮したメニューを毎日提供します。



おもちゃやパソコンを使って自由に遊んだり、画用紙や毛糸を使って工作をしている子もいます。体育館や校庭で遊ぶ時間もあり、体を動かすこともできます。



各家庭の生活スタイルに合わせて、ご希望の時間に下校することができます。

放課後教室(習い事)



書き方教室だけでなく、今後はスポーツや学習に関する習い事を充実させていきます。

1日の流れ ※時間は一例となります

14:20	~15:00	15:00	15:30	18:00	下校について
入室	勉強タイム	おやつ	自由時間	最終下校	各家庭の生活スタイルに合わせて、18:00より前に好きな時間に下校することもできます。職員は約束の時間に下校ができるよう、声掛けを行います。
授業終了後、明星っ子クラブルームの玄関から入室します。	入室したら、まず宿題に取り組みます。	(株)レバスト(学苑内カフェテリア)により、栄養価に配慮したメニューを毎日提供しています。	室内や外で、自由に遊びます。雨の日は、映画の上映会をしたり、体育館を使用することもあります。	府中方面・国分寺方面・北門・南門まで職員が引率し、集団下校をします。	

制服紹介



冬服

10月中旬から4月まで着用します。

合服

5月初旬の春先や10月下旬までの秋口の肌寒い日に着用します。



校内着

登校すると、黄色いポロシャツに、男子は半ズボン、女子はキュロットスカートの校内着に着替えます。ポロシャツの襟の色は3種類あり、自由に選ぶことができます。

運動着

赤い星のロゴマークがアクセントの運動着は半袖と長袖があり、男女共通です。体育の時間に紅白帽と合わせて着用します。



School Uniform

伝統を感じさせる、品のいいデザイン
活動的な小学生にふさわしく、動きやすさを重視しています

夏服

5月中旬から10月下旬まで着用します。



安心安全



下校指導
学苑からのバス乗車の際の見守りの様子

Safe and Secure

明星小学校は、セキュリティや安全対策に万全を期しています



正門での守衛の見守り

正門・南門・北門それぞれに守衛を配置し、不審者の侵入を未然に防いでいます。また、登下校時の児童の交通誘導も行っています。



バスマナー教室

普段から登下校時に公共交通機関を利用している児童が多いので、京王バスと連携し、構内にバスを乗り入れてもらい、乗車マナーを確認する授業を行っています。

メール配信システム

児童の登下校の情報を、保護者の方の携帯電話やパソコンにメールで配信するシステム「れんらくアプリ」を活用しています。災害時や臨時休校などの情報、学校からのプリントもれんらくアプリを使って配信しています。





「正直なよい子」に育つ 子どもたち

長女の進学先を迷っていた際、笑顔溢れる先生方がいらっしゃる明星小学校に出会いました。私たち夫婦は地方の出身のため所縁はありませんでしたが、初めて門をくぐった時の陽に照らされた緑の木々、すれ違えば挨拶を交わしてくれる学苑の生徒たち、そして心から楽しみに子どもたちを迎えてくださる先生方を今でも忘れません。

一方的に教える教育ではなく、先生やクラスのお友だちと質問や意見を交わしながら進む授業は、より深い学びに繋がっていると感じております。また、明星小学校の特徴である凝念を行うことで、質の高い授業に集中して取り組むことができている。優しいお友だちにも恵まれ日々楽しく学校生活を送り、教育目標である「正直なよい子」に育っていく長女を見て、妹たちも明星小学校へと思う気持ちは自然と生まれました。

毎朝元気に3人で登校し、笑顔いっぱい帰ってくる姿を見るととても嬉しく、最高の環境を与えてくださっている明星小学校へは感謝の気持ちでいっぱいです。

Voice from Graduates



国際社会で活かされる 明星での学び

庄司 愛美 | 2005年3月卒 |

WHO(世界保健機関)勤務

明星小学校では、勉学はもちろんですが、何よりも人として大事なことをたくさん教わりました。「正直なよい子」そして「健康、真面目、努力」という校訓は一見簡単なようで、すごく深いものであったと、卒業して10年以上経った今深く実感しています。

これらの校訓、精神に加え、五正道に基づいた物事を正しく考察し行う、という考えと凝念で培った集中力や物事のオンオフの切り替えをしっかりと行うことは、日常生活のさまざまな場面で役に立っています。今、こうして国際社会の場で自信を持って堂々と日々を送れるのは多様性を認め、一人ひとりの生徒の個性を尊重し、大事に育ててくださった先生方の教育のおかげです。

Voice from Parents

先生方は「子どもの主治医」

大きな声でご挨拶をしてくださるお子様方と明るく元気な先生方。緑豊かな環境と英語教育、グローバル教育の充実。そして伝統である「凝念」。数々の魅力を感じ我が子たちに明星小学校で学んでほしいと思いました。

入学してからは教科書や机上だけでは学べないことを校内外で様々な体験を通して学ばせて頂いていることにも魅力を感じています。「体験の明星」と言われる様に、実際に体験することにより、自分で考え行動する力をお友だちと一緒に試行錯誤しながら育んでいることを実感しています。4年生の校外学習「Englishインタビュー」は、成長を感じられたイベントのひとつでした。また先生方は一人ひとりの「子どもの主治医」になり、それぞれに合った「お薬」をくださいます。苦手意識を持っている教科を双子の兄妹がそれぞれ違った方法で自主的に勉強していると知った時、先生方はそれぞれに合った指導をしてくださる名医だと思いました。

人見知りで中々自分を出せず若干消極的な兄妹。お友だちに助けられ、個性豊かな先生方に導かれ、様々な経験を積み重ね成長していく姿が感慨深く、明星小学校に御縁をいただいたことに感謝しております。



心(芯)を作った6年間

鈴木 英幸 | 2013年3月卒 |

明星大学教育学部教育学科

子どもたち主体の協働的授業を小学校から高校まで12年間を通して一貫性を持ちながら受けたことにより、仲間の大切さや人間としてどうあるべきなのか様々なことを学びました。また、英語教育や算数教育などたくさんの素晴らしい教育を受けてきました。小学生の間に知識の定着を確認することができた為、中学高校とさらにレベルアップすることができました。

しかし、今でも一番私の心に刻まれているのは明星の「心(芯)」をつくる教育です。協働的授業や道徳科、くぬぎなど全教育課程を通して、「人を思いやる心・自分を思いやる心」や精神力を身につけることができました。人を大切に思いやる心は、人間である上で一番大切なものだと思います。また、精神力を身につけられた為、こころの大切な場面で粘り強く耐え抜くことができるようになりました。

明星に育てていただいた「心(芯)」を来年から社会に出て、教師生活が始まりますが、私自身これからも大切にしていきたいですし、これから教えていく子どもたちに受け継いでいきたいと思います。





スカッとさわやかに!

『賢さ』と『豊かさ』を 追い求めて

細水 保宏
明星小学校 校長

「スカッとさわやかに」

この言葉は、私が教師になったときの最初のクラス目標で、それ以来、いつも担任したクラスの黒板の上に合い言葉として掲示してきました。この明星小学校でも校長室に掲示し、機会あるごとに「さわやかな人になるためにはどのようにしたらよいのか」を問いながら、子どもたちと「さわやか探しの旅」をしています。

例えば、全力を出し切ったときの気持ち、そのとき流した汗は、実にさわやかです。また、全力で取り組んでいる人の姿や笑顔を見ると、さわやかな空気を感じます。自分のことをいつも誰かが見ていてくれる、想ってしてくれると感じたときや、友達や周りの人の優しさや思いやりの気持ちに出会ったとき、みんなと一緒に物事を成し遂げたときなども、さわやかな気持ちになります。また、そのさわやかな気持ちが、みんなと一緒にやりたい、みんなの喜ぶ顔がみたい、といった次へのエネルギー源になると感じています。

「教師力」

明星小学校では、建学の精神「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」を受け継ぎながら、「賢さ」と「豊かさ」を兼ね備えた、輝きをもった子どもの育成を目指しています。

教育は、3年後、6年後、9年後の姿を想い、今何を

すべきか考えていくことが大切です。そこで、子どもたちの学びを、「問題発見力」「問題解決力」「問題追究力」という場面を意識づけて行っています。この本校独自のプログラムを「探究」として各教科で取り組んでいます。このような子どもの学びには、授業力や人間性が備わった「教師力」が子どもたちに大きく影響することを考え、教師に必要な資質・能力、授業力を切磋琢磨しながら豊かなものにしていきます。

子どもたち一人ひとりの幸せを願う。それは、教師も保護者の方々も共通の願いです。保護者の方々も「チーム明星」の一員となっただき、「さわやか探しの旅」を楽しんでいただきたいと思います。そして、この学校で6年間を終えたときの卒業式、あるいは、卒業してからも、この明星小学校を母校として過ごせてよかったと思ってほしいと感じています。

どんな子ども心を開いて、学び、成長していく、さわやかな風が流れる学校を目指し、子どもたち、保護者の方々、教職員一同がチームを組んで一緒に学校を創っていく、それが私の学校づくりの強い想いです。

是非、一緒に創っていきませんか。

もちろん、合言葉は、「スカッとさわやかに!」。

History of Meiseigakuen 学苑のあゆみ

